

感染最多100人

新型コロナ 県内初の1日3桁 累計884人、飲食店で拡大

県は7日、新型コロナウイルス感染者が100人に入ったと発表した。県内で1日の感染者が3桁になるのは初めて。県内の累計感染者数は884人に達した。玉城デニー知事は7日に会見を開き、7月末から感染者数が急増したことで重症者の治療を行う感染症指定医療機関でPCR検査の業務が負担になっているとして当面の間、検査対象を見直すと発表した。



新型コロナウイルス感染拡大を受けて会見を開く玉城デニー知事
7日夕、県庁(代表撮影)

県医師会と県、那覇市は8月1、2の両日、クラスター(感染者集団)が発生した那覇市松山の飲食店従業員らを対象に無料のPCR検査を実施し、検査人数は2日間で約2080人に入った。7日に県が発表した感染者には、松山の関係者なども含まれているという。

玉城知事は7月31日、県独自の緊急事態宣言を発令し、8月1日から那覇市松山で接待や接触を伴う約400店に15日間の休業を求めるとともに、那覇市内の飲食店約3千店舗に対して午後10時までの時短営業を要請した。石垣市や宮古島市のキャバクラ店でもクラスターが発生する中、玉城

知事は5日には、離島地域の医療体制を守るため、不要不急の外出自粛要請を本島全域から離島を含む県全域に拡大した。宮古島市、石垣市の繁華街に立地する接待・接触を伴う飲食店に休業を要請した。

県や専門家は、県内で感染が拡大した背景について、県外から複数の感染源が集まる飲食の場などで県民の間で感染が広がっているという見方を示している。

現在、感染が若者から重症化のリスクが高い高齢者に広がり始めている懸念があるとして、県は若者に高齢者への面会を控えるよう呼び掛けている。